

<2022年度 第3回定例研究会／ハイブリッド開催>

## 音楽と社会

講演：サエキ けんぞう（作詞家）

日 時：2022年10月1日（土）13時～14時30分

本研究会は、サエキけんぞう氏を招聘して、「音楽と社会」についてロックによる若者文化の出現という観点から以下のようなご講演をしていただいた。



プロフィール サエキけんぞう

1958年7月28日、千葉県出身。85年徳島大学歯学部卒。86年パール兄弟でデビュー、作詞家として沢田研二、小泉今日子、モーニング娘。他に提供。著書「歯科医のロック」他多数。2012年著書「ロックとメディア社会」でミュージックペンクラブ賞受賞。獨協大学、国立音楽大学、大正大学、各講師を務める。

★サエキけんぞうのラジオ・レギュラー番組「NHKラジオ第一 マイあさラジオ」で「サエキけんぞうの素晴らしき20世紀POP」コーナーを担当。土曜朝、6時10分過ぎ NHK-AM 第一放送 10分程度のコーナーです #nhkr1

（以下サエキ氏がまとめられた講演概要）

### ロックが果たした「若者文化の出現」という役割

はじめに

ロック（ロックンロール）は、1950年代中盤にアメリカでブレイクし、世界中に輸出され、そのために史上初、大量消費されることになった若者文化の根幹となった音楽です。ロックンロールが若者の生活スタイルを変え、大量消費文化としての音楽を核にした流行事象を楽しむようになったといえます。

そのことをお話する前に「若者」という概念そのものが、今の世の中で感じているような存在だったか？ということについて考える必要があります。

「若者」とは？ 今の「若者」という存在は昔からあったわけではないのです。

例：若者といえば、娯楽を享受する存在ですが、娯楽について考えてみましょう。

例えば、海水浴場というものは、人類史でいえばごく最近現れた存在なのです。1750年 英国人医師ラッセル氏により、英国ブライトンに世界初の海水浴場が開設されました。日本では1885(明治18)年松本順氏により大磯海水浴場開設されたのです。ほっておくと、原始時代から現在のように海水浴していた？と考える可能性がありますね。

第二次世界大戦前までの日本にも、現在のような若者はいませんでした。「モボ、モガ」のようなごく少数の流行的存在はいましたが、大量消費をしながら、流行を楽しむのは、お金を持っている大人がすることで、若者は「農業労働、工場労働、兵役、家事」をする存在だったのです。

若者文化については、あまりにも存在がヴィヴィッド(鮮やか)でありすぎるために、時系列を追って、どのように隆盛していったか？を慎重に考える必要があります。

### 1. ロックンロールの誕生

ロックンロールには、誕生の瞬間があります。それは大々的な若者マーケットの出現の瞬間ともいえるでしょう。

ロックンロールは、エルヴィス・プレスリーによって、1956年にブレイクします。それがブレイクする時に、前提となったアメリカの状況について考えましょう。エルヴィスは、台頭する圧倒的な数の若者世代の支持を受けながら、歌手のふるまいを、根底的に変えてしまったのです。

それ以前の歌手のふるまいを動画で見てください。 フランク・シナトラ「スターダスト」(1943年)を動画検索すれば、簡単にわかります。突っ立ったまま、柔和な表情を浮かべて歌うのですね。

ところが、プレスリーは、腰を振って、性的な衝動性を生かした躍動的なパフォーマンスをします。

もう一例、映像で検証しましょう。

「暴力教室 (Blackboard Jungle)」という1955年の映画です。実際の米国下町のバイオレンスな状況… ロックンロールを生んだ若者の暴力的なエネルギーを描き出しています。

とてつもない、暴力衝動を秘めた、若者たち、その期待に答えて誕生したのが、黒人音楽と白人音楽を融合した、エルヴィスのロックンロールだったのです。ロックンロールは、中流、下流階級を中心として生まれた。その若者発の大衆文化であることを示す映像です。1955年頃のアメリカの若者状況を検証しましょう。

- (1) メディアの状況は、ラジオからテレビへ、つまり聴覚から視覚を含む影響力を持つメディアに変わっていた。
- (2) 若者の経済状況としては、週20ドル程度の自由に使える経済状況に発展していた。
- (3) 米国大衆音楽の状況としては、リズム&ブルースなどの黒人音楽が急速に影響力を持つようになってきていた。

この3つの要素を背景に、エルヴィスは「ハートブレイク・ホテル「Heartbreak Hotel」で1956年1月27日にメジャーデビューします。その翌日、1月28日には「CBS-TV トミー・ドーシー・ステージ・ショー」でテレビ初出演するのです。その模様を動画で見てください。

曲の最初の間奏で、エルヴィスが盛んに腰を振っていると、だんだん、歓声が大きくなっていくのです。2回めの間奏では最初から歓声が大きいです。つまり、1956年1月28日にトミー・ドーシー・ステージ・ショーを見ていた人たちが、エルヴィスの「腰振りパフォーマンス」を発見したといえるのではないのでしょうか？これは人類史において、TVという放送メディアを使用し、黒人音楽的な腰振りパフォーマンスが白人によって称賛され、受け止められた歴史的瞬間といえるのではないのでしょうか？

そして大々的な若者マーケットがロックンロールを核に出現した最初の瞬間ともいえるでしょう。

このエルヴィスのロックンロールは、黒人音楽（ブルース、リズム&ブルース）を白人音楽（カントリー）と融合させたものだったのです！つまり、人種間の壁を破る働きを音楽で成し遂げたのです。ブレイク後の映像は、「Hound Dog」（1956年6月 Milton Berle Show）です。この腰振りは、しばらく社会的風紀問題となり、TVでは下半身を映さないという状況が半年間続いたといえます。

## 2. エルヴィスに続く革命はビートルズです

そのメディアにおける役割をお話しましょう。

エルヴィス・プレスリーに続いて、バンド音楽のビートルズが出現しました。

ザ・ビートルズは、1962年にメジャーデビューいたしました。そのビートルズの意義について考えてみましょう

### (1) バンド音楽を普及させた。

「The Beatles at The Cavern Club in 1962」デビュー前の映像を見ますと、4人が平等に並んで演奏をしていることがわかります。従来、ポップス音楽は、ソロ歌手+楽団の編成で、バックバンドは引っ込んでいる存在だったのです。それを平等にすることにより、楽器にも脚光を浴びせ、各パート共に進化させる布石となりました。これはエルヴィスよりもなぜビートルズが進化したといえるのか？という一番根底的な原因です。

### (2) エルヴィスのロックンロールは、黒人音楽と白人音楽を融合させた。

しかしビートルズはさらにそれを前進させ、アメリカ公演の際に、「差別をするなら演奏をボイコットする」と、人種問題を融合させる働きをしたのです。これについては、映画「8デイズ・ア・ウィーク」においてウーピー・ゴールド・バーグの証言があります。

### (3) アルバムの時代を作り出した。

「ラバー・ソウル」（1965）「リボルバー」（1966）「サージェント・ペッパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド」（1967）の3枚のアルバムで、コンセプトのあるトータルなアルバムを作り、シングル・

ヒットの時代を終わらせました。クラシックに負けない作品性で勝負する時代をロックにもたらしたのです。

(4) クラシックとの融合を果たし、プログレッシヴ・ロックという複雑なロックへ道を作った

「YESTERDAY」(1965)という曲で、ロックでは初めてクラシックの弦楽をフィーチャーしましたが、そこで敷かれた道がロックとクラシックの結びつきをもたらし、わずか5年後には、音楽的にはるかに進化したプログレッシヴ・ロックが生まれます。キング・クリムゾンの「Larks' Tongues in Aspice, Part One」という映像の複雑さわまりない演奏を聴いてみましょう。

(5) 「リボルバー」の「TOMMOROW NEVER KNOWS」(1966年)という曲でロックとしては初めて「テープ・ループ」を使用。

これは80年代ヒップホップで使われ出し、挙句の果ては、現在のポップス制作の基礎になってしまいます。現代では、世界のほとんどのヒットソングがループで作られているのです。

### 3. まとめ

現代の大量消費される若者文化の起点には、エルヴィス・プレスリーが、メディアを使って広めたロックンロールがあり、それは白人文化と黒人文化を融合した。それを継承して発展させたビートルズは、様々な実験により、ロックを多様で、社会的影響力のある普遍的な文化へと発展させた。

以上

(研究会報告担当者：仁科伸子)